

平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年8月19日

上場会社名 **神鋼鋼線工業株式会社** (コ-ド番号 5660 東証・大証 第2部)
 (URL <http://www.shinko-wire.co.jp>)
 問合せ先 代表者役職名 取締役社長
 氏名 水口 征之
 責任者役職名 常務取締役(総務本部長)
 氏名 片岡 滋正 TEL (06) 6411 - 1051

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 **有**
 影響が僅少なものにつき、一部簡便的な方法を採用しています。
 税金費用は、各社の財務諸表上の税引前四半期純利益に法定実効税率を使用して計上しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 **無**
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 **無**

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	4,945	4.9	95	51.3	39	60.3	3	99.5
17年3月期第1四半期	4,713	2.3	196		99		633	
(参考)17年3月期	21,087		1,958		1,532		516	

	1株当たり	潜在株式調整後1株当
	四半期(当期)純利益	たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	0.05	
17年3月期第1四半期	10.80	
(参考)17年3月期	8.81	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のセグメント別売上高の状況は次のとおりです。

(1) 線材製品関連事業

(PC関連製品)民間投資関連については、マンション、倉庫物件が堅調に推移しており、一方公共投資関連につきましては、公共事業費の縮小傾向が続く厳しい市場環境であります。そうした中で高付加価値製品の提案営業と、民需への転換を積極的に実施しましたが、電力の大型物件が終了した影響もあって、売上高は、1,393百万円と前年同四半期に比べ18%下回りました。

(ばね・特殊線関連製品)自動車産業向けは、日本車の世界シェア拡大にともない順調に出荷量を伸ばしています。また、家電弱電向につきましても一部にアテネオリンピック後の在庫調整があったものの、おおむね堅調に推移しており、売上高は、1,826百万円と前年同四半期に比べ12%増加しております。

(ワイヤロ-プ製品)国内向けにつきましては、需要は昨年よりやや減少気味の状況で、一般土建、海上土木用が落ち込み、建機用ロープ、エレベータ用ロープなどで増加しましたが、全体としてやや減少しました。また、輸出は、固定客も増加し堅調に推移しています。

売上高は、価格は正の実効も出て1,244百万円と前年同四半期に比べ11%上回りました。

(2) エンジニアリング関連事業

主力製品である吊構造用ケ-ブルと当社開発製品による橋梁用補強工事は、大型物件が前年度からの繰り越しとなり、前年同期を大きく上回りました。一方、道路騒音防止関連製品は、昨年より続いております競争激化により苦戦を強いられています。また、建築向けは大型物件がなく、中小物件が中心の売上となり、前年同期を大きく下回りました。全体の売上高は 457百万円となり、前年度からの繰り越しの大型物件の影響により、前年同四半期に比べ79%の増加となりました。

(3) 不動産関連事業

売上高は、23百万円となりました。

以上の結果、売上高は4,945百万円と前年同四半期に比べ4.9%の増収となりましたが、収益面では、原材料の更なる値上げ等によるコスト増で営業利益、経常利益はそれぞれ95百万円(対前年同四半期比51.3%減)、39百万円(同60.3%減)となりました。四半期純利益は、3百万円となり、前年同四半期には土地の売却益 1,213百万円がありましたため、前年同四半期に比べ大きく減少しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	32,216	14,067	43.7	239.95
17年3月期第1四半期	35,582	14,372	40.4	245.05
(参考)17年3月期	33,756	14,227	42.1	242.68

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,539百万円減少の32,216百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が1,446百万円減少したことによるものです。

負債は、1,379百万円減少の18,148百万円となりました。これは主として借入金320百万円、未払法人税等369百万円並びに支払手形及び買掛金260百万円の減少によるものです。

株主資本は、160百万円減少の14,067百万円となりました。主な減少は、6月に1株当たり3円の期末配当175百万円を実施したことによるものです。また、株主資本比率は負債の減少で43.7%となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	10,680	260	70
通期	22,470	1,100	420

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 7円15銭

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期及び通期の連結業績予想につきましては、概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日)		前第1四半期 (平成16年6月30日)		増減	前連結会計年度 (平成17年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
1.現金及び預金	2,890		2,484		405	2,699	
2.受取手形及び売掛金	7,967		8,053		85	9,414	
3.たな卸資産	4,318		4,342		24	4,257	
4.その他	800		1,836		1,035	1,041	
流動資産合計	15,976	49.6	16,717	47.0	740	17,413	51.6
固定資産							
1.有形固定資産							
(1)建物及び構築物	4,046		4,098		52	4,066	
(2)機械装置及び運搬具	4,892		5,119		226	5,024	
(3)土地	4,279		6,037		1,758	4,279	
(4)その他	215		169		46	139	
有形固定資産合計	13,433	41.7	15,425	43.3	1,991	13,509	40.0
2.無形固定資産	32	0.1	33	0.1	1	30	0.1
3.投資その他の資産							
(1)投資有価証券	1,065		1,726		660	1,079	
(2)その他	1,707		1,679		28	1,722	
投資その他の資産合計	2,773	8.6	3,405	9.6	632	2,802	8.3
固定資産合計	16,239	50.4	18,864	53.0	2,625	16,342	48.4
資産合計	32,216	100.0	35,582	100.0	3,365	33,756	100.0
(負債の部)							
流動負債							
1.支払手形及び買掛金	2,501		3,939		1,437	2,762	
2.短期借入金	7,512		2,598		4,914	7,540	
3.未払費用	1,137		1,616		478	1,507	
4.その他	698		1,109		410	1,095	
流動負債合計	11,849	36.8	9,262	26.0	2,587	12,905	38.3
固定負債							
1.長期借入金	4,208		9,930		5,722	4,501	
2.退職給付引当金	2,079		2,016		62	2,111	
3.その他	11		-		11	11	
固定負債合計	6,298	19.5	11,946	33.6	5,648	6,623	19.6
負債合計	18,148	56.3	21,209	59.6	3,060	19,528	57.9
(資本の部)							
資本金	8,062	25.0	8,062	22.7	-	8,062	23.9
資本剰余金	6,354	19.7	6,354	17.9	-	6,354	18.8
利益剰余金	486	1.5	196	0.6	289	314	0.9
その他有価証券評価差額金	144	0.5	156	0.4	11	131	0.4
自己株式	7	0.0	3	0.0	3	7	0.1
資本合計	14,067	43.7	14,372	40.4	305	14,227	42.1
負債及び資本合計	32,216	100.0	35,582	100.0	3,365	33,756	100.0

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

期 別 科 目	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		増 減		前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	4,945	100.0	4,713	100.0	231	4.9	21,087	100.0
売 上 原 価	4,070	82.3	3,715	78.8	354	9.6	15,939	75.6
売上総利益	874	17.7	997	21.2	123	12.3	5,148	24.4
販売費及び一般管理費	778	15.7	800	17.0	22	2.8	3,189	15.1
営業利益	95	2.0	196	4.2	100	51.3	1,958	9.3
営業外収益								
1.受取利息	6		0		6		20	
2.受取配当金	7		10		2		14	
3.持分法による投資利益	-		-		-		3	
4.その他	9		9		0		23	
計	24	0.5	19	0.4	4	20.4	63	0.3
営業外費用								
1.支払利息	54		63		8		237	
2.持分法による投資損失	9		24		14		-	
3.その他	16		29		13		250	
計	80	1.6	117	2.5	36	31.5	488	2.3
経常利益	39	0.9	99	2.1	60	60.3	1,532	7.3
特別利益								
1.投資有価証券売却益	40		-		40		-	
2.固定資産売却益	-		1,213		1,213		1,216	
3.関係会社株式売却益	-		-		-		39	
計	40	0.8	1,213	25.7	1,172	96.7	1,256	5.9
特別損失								
1.固定資産売却損	-		-		-		1,196	
2.退職給付会計基準 変更時差異償却	-		163		163		655	
3.投資有価証券売却損	5		-		5		37	
4.役員退職慰労金	47		39		8		39	
計	52	1.1	203	4.3	150	74.1	1,928	9.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	27	0.6	1,109	23.5	1,082	97.6	860	4.1
税金費用	24	0.5	475	10.1	451		345	1.7
四半期(当期)純利益	3	0.1	633	13.4	631	99.5	516	2.4